※令和３年度以前入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築システム実習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２学年での実習で学んだ技術や知識を踏まえつつ､建築システムの新たな分野の知識や技術について習得します。班員全員が協力し、責任を持って行うというチームワークにより、協力の態度を養い、定められた規律を守り、技術者に必要な資質を体験的に理解して身につけましょう。
４つの分野について作図・演習・実習などを行います。

２　学習の到達目標

・建築システムに関する各分野における技術への興味・関心を高め、建築システム技術の広い視野と倫理観を養う。
・各分野における実験・実習方法について学び、理解する。
・同じグループの者と協力して作業を行い、協調性を養う他、積極的に発言することで、コミュニケーション能力も身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・各実習に興味・関心を持ち､その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに､社会の発展をはかる創造的･実践的な態度を身につけている。	･建築システム技術に関する諸問題の適切な解決をめざして､広い視野から自ら考え､基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し､その結果を的確に表現する能力を身につけている。	・建築システムに関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	・建築システムに関する基礎的な知識を身につけ、建築技術の発展と環境・資源などと調和のとれたあり方及び現代社会における建築技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 レポートやワークシートの記述 レポートの提出 グループワークへの参加状況	学習状況の観察 レポートやワークシートの記述 発表・発言 相互評価・自己評価	学習状況の観察 レポートやワークシートの記述 レポートの提出 発表・発言	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポートの提出 発表・発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。
原則として、すべてのショップについて、合格することが単位認定の前提である。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
通年	住宅・設備設計	住宅の構成方法 各部の計画方法 快適で住みやすい住空間	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:住宅設計に関心をもち、意欲的に取り組む意欲・態度 b:住宅設計のプランニング過程における思考と判断 c:各種実習における技能 d:住宅設計の基礎的知識と設計上のプランニングについての知識・理解	学習状況 出席状況 実習作品 製図課題 レポート課題
		建築設備図の作製 （給排水衛生設備） （電気設備） 給排水設備の設計	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:建築設備に関心をもち、意欲的に取り組む意欲・態度 b:設備設計および建築設備図の作製過程における思考と判断 c:各種実習における技能 d:建築設備の基礎的知識と設備計画についての知識・理解	学習状況 出席状況 実習作品 製図課題 レポート課題
	パース実習	・建築パースの作図 彩色表現の基礎 外観透視図(着彩) 内観透視図(着彩) 透明水彩での着彩表現	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	ａ:パースと着彩表現に興味・関心をもち，技術を身につけ意欲的に取り組む態 b: パースと着彩表現に取り組む行動力 c: パースと着彩表現に取り組む技能 d: パースと着彩表現に取り組む基礎的知識と基礎的技術の理解	学習状況 出席状況 実習作品 レポート課題
	施工実習	足場組み立て実習 建築積算演習 工程表作成演習 施工図の作成	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:施工実習に関心をもち、意欲的に取り組む意欲・態度 b:施工実習の作業過程における思考と判断 c:各種実習における技能 d:施工実習の基礎的知識と作業方法の知識・理解	学習状況 出席状況 実習作品 レポート課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解